

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 25 No 1

282号

平成29年 1月 8日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして
おめでと
ございます



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

新しい年を迎えて-2017-

院長

昨年に引き続き、恒例の「新しい年を迎えて」と題して、昨年を振り返ってみます。

最も大きな出来事は、昨年の10月で高齢者の仲間入りしたことでしょう。自分では意識してなかったのですが、仙台市から「豊齢カード」なるものが送られてきて気付いた次第です。高齢者の定義に関しては、年明けすぐに日本老年医学会から「65～74歳が准高齢者、75～80歳が高齢者、90歳以上が超高齢者」との提言がなされました。

さて年齢というものを、どう捉えたらいいのでしょうか。当然のことながら、年齢には肉体年齢と精神年齢があります。肉体年齢は尺度持って計ることができますが、精神年齢は残念ながら計れません。肉体年齢は体力的なものを指すわけですが、見た目年齢も大きな評価の要素に含まれるでしょう。

赤ちゃんが生まれてから1年が経つ頃には片言の言葉、そして歩くことができるようになります。この1年の変化は人間の一生の中で、最も大きな変化です。その後も年齢とともに進歩していくわけですが、ある時点からその進歩は平坦になり、さらには下降していくものです。平坦化を維持し下降を防ぐことが老化を防ぐことにつながるはずです。当然のことながら肉体と精神は両輪で、片方が維持できなくなれば真っ直ぐには進めません。

以外と見た目にも若く見えることもあり、この記事を読んで驚かれた読者が多いかもしれません。若く見える理由を考えてみますが、持って生まれた遺伝子と精神年齢が大きく影響しているのかもしれませんが、それだけではなく、環境つまり小児科医とい

7月のお知らせ

● 東北大学医学部学生実習

27日(金) よろしくお祈りします

● 栄養児相談

18、25日(水) 13:30～

栄養士担当 参加無料

● 休診

19日(木) 予防接種アドバイザー

21日(土) 午後 医師会防災訓練



う職業が大きく関係しているのでしょうか。子どもだけでなく、若い母親(一部そうでない人も:笑)を相手にしているのですから老け込むわけにはいきません。患者さんとの会話にギャップがあれば心を開いてくれません。ハイタッチや冗談もなければ、子どもとの距離は縮められません。皆さんも感じているはずですが、診察の時の会話は日常の会話の延長です。若いとは言いながら、年の初めから年齢の話題をするようになったのは歳をとった証拠かもしれません。

年齢の話で道草を食ってしまいました。昨年話題は相変わらずの「忙しさ自慢」です。昨年を振り返ってみますが、何と出張が20回もありました。東京がほとんどですが、札幌、秋田、岩手、名古屋、桑名、高松、米子とあちこち飛び回りました。ちょっと余裕がある時には、息抜きとしてゴルフや温泉でゆったりと羽を伸ばすこともできました。

仙台市医師会理事が2期目となり、医師会の要である地域医療部長を任せられ、さらには医療情報部長、そして学校保健副部長と、さらに忙しい日々を過ごしました。診療以外の会議を含めたイベントは月20回以上も珍しくはありません。Facebookでは会議の内容に触れられないことも多く、名札と弁当の写真で埋め尽くされていると評判です。仙台小児科医会会長となって以来、毎年ひとつは新しい事業を実現してきました。昨年は虐待死亡例検証の反省から乳児健診問診票の収集方法を改めました。健診票の自由記載に込められた母親の思いや叫びを聞くための変更です。さらに難聴の発見が遅いことを改善するために、1歳6ヶ月健診問診票に「耳の聞こえ」に関する項目を追加しました。問題や疑問点、さらには改善点が見つかれば、必ずプロダクト(成果)を出すという会長としての考えが毎年実現しています。これからも新しいことを生み出していきたいと思っています。

講演会が多かったことも特徴でした。4月子育て支援フォーラム in 宮城「子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して」では「子育て支援と虐待予防～小児科医にできること～」(日本・宮城県医師会)。10月たいはく元気っこ応援隊研修会「健やかな子どもの育ちのためにできること～子育て支援と虐待予防～」(太白区)。その他、3月日本小児科学会モニング実践講座(札幌)、8月日本外来小児科学会ランチョンセミナー(高松)、10月日本保育園保健学会ランチョンセミナー(岩手)座長も担当しました。

まだまだ書き忘れたものがあるかもしれませんが、相変わらずの「忙しさ自慢」です。昨年1月号には「3足の草鞋から2足になるのですが、果たして暇になるのでしょうか。」と書きました。しかしながら、草鞋が減っても結局忙しさは変わりません。自分より忙しい人がいるはず、頼られることは幸せ、忙しいうちが華と考え精進したいと思います。

まだまだ忙しくなる予感がします。今年も休診で迷惑かけることになると思いますが、よろしくお祈りいたします。

『がんばろう! 熊本 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

あけまして おめでとう ございます

新しい年は何が起こるかワクワクしますが…ケガしないように体調崩さないように健康な一年を過ごしたいと思います。 事務 福地 あさか

もうサルとりは振り返らずに、今年は大トリを目指して一年を駆け抜けたと思います！ただ、年のせいとごまかして美味しい物を食べ過ぎて、せきトリみたいに今以上太り過ぎないように注意したいと思います！
看護師長 中米 由美子

今年の第一の目標は、体力作り。歳相応の筋力もなくなっている…と実感した去年。院長を見習い、日々実践していけるように頑張ります！仕事面では、忙しい時でも気遣い、心配りができるようにしていきたいと思ひます！看護師 佐藤 陽子

今年も無事、新しい年を迎える事ができました。2017年も、皆さんの力になれるよう笑顔と元気です！頑張っていきたいと思ひます！よろしくお祈りします^^
事務 瀬川 里奈

読者の広場

先月は15通のメールをいただきました。毎年年末になるとメールの数が多くなります。やはり年の瀬となるといろいろな思いが巡ってしまうのでしょうか。

宮城野区の我妻さんからの『お母さんクラブ』クリスマス会の感想です。“こんばんは☆我妻叶翔、凜緒、拓翔の母です。今日は拓翔がお世話になりました。遅くなりましたが、先日のクリスマス会の感想を送ります。川村先生のところに通いつめて、早3年半、予定が合わずなかなか参加できなかったクリスマス会に今年初めて3人の子供と共に参加させていただきました。持ち帰るのが大変なほどの大量のプレゼント、スタッフの方々手作りのリースやクリスマスカード。本当に愛のこもったクリスマス会でした。子供達もとても楽しかったようですが、猫の悪者？が怖かったといまだに言ってます。クリスマス会当日、長男は大泣きしてました(笑)また、母親の私にもプレゼントをいただき、とても嬉しかったです。小児科にも関わらず、私自身の誕生日にも「誕生日おめでとう」と言ってくれた川村先生とスタッフの方々。そんな心遣いがとても嬉しくて、こんな素敵な病院、かわむらこどもクリニックがこどもたちのかかりつけて本当によかったと思ひました。何かあつたらすくに川村先生！と受診し、先生とスタッフの方々がいるからいつも安心して子育てできます。これからも末永くよろしくお願い致します(笑)今回はお忙しい中素敵なクリスマス会を開催していただき、ありがとうございました。”



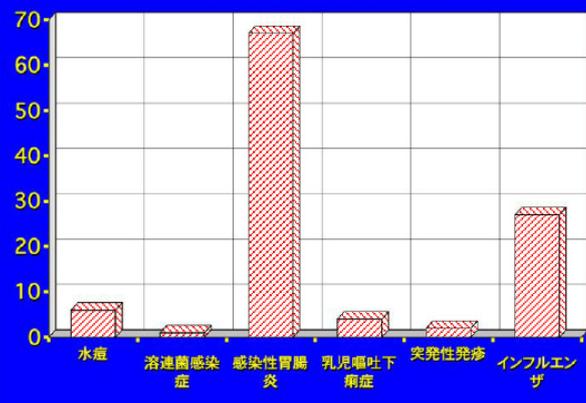
おかげさまで、参加者は親子43人、クリニック・薬局のスタッフ、さらにはサンタ・トナカイさんを加え50人を超える盛大な会となりました。クリスマス会は、クリニックにおける一大イベントです。日ごろ子育てに奮戦しているお母さんたちへ、クリニックからの心ばかりのプレゼントです。そのためスタッフも仕事の合間を縫って、手作りのカードなどの準備をしてくれました。お母さんたちも時には子どもや日常を忘れて童心に帰って楽しい時間を過ごすことも必要でしょう。ゆうきママのワンマンショーでは、今回もクリニックへの思いを込めて「ひだまりの詩」歌ってくれました。院長も無理やり引っ張り出されて、“ルパン三世”を踊らされました。なかなかの写真でしょう。クリニックからの感謝の想いがちゃんと伝わり、多くの患者さんに支えられているという実感が湧き院長としても満足です。今年もみなさんの参加をお待ちしています。クリスマス会の模様は待合室に掲示してあります。サンタさんとの記念写真も全員に差し上げますので、楽しみにしてください。



年賀状ありがとうございました

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。 院長・スタッフ一同

12月の感染症の集計



水痘は相変わらず多めですが、年齢層が高い子どもたちに見られています。急増した溶連菌は減少しました。今回特別に感染性胃腸炎をグラフに示しました。年末になり減少してきて、ピークは過ぎました。インフルエンザが出ていますが、流行はこれからと思ひます。流行状況に関してはFBで情報提供しています。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、570人を越えるお母さんが登録。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBをどうぞ。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomo-clinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。

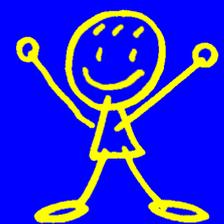


MailNews

Facebook

編集後記

今月号はVolume21.No1です。お陰様で25年目を迎えることができました。NEWSも忙しさの一端ですが、忙しさより、読者の支えで継続できたことに感慨一入です。年齢のことを書いたせいではありませんが、いつまで働くのか、働けるのかを考えてしまいます。高齢者の定義が変わっても、毎年必ず年だけはとってしまいます。これからは、しっかり年をとるのではなく、重ねていくつもりです。ご支援ください。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！